

第6回御所市学校規模適正化推進会議

議事要旨

日時 平成27年1月28日(水) 19時00分～21時20分
場所 市役所本館3階 第1会議室
出席者 委員：田仲会長、山本委員、辻内委員、木下委員、齋藤委員、
田仲委員、津田委員、井上委員、川田委員、向手委員、
北谷委員、野阪委員 (欠席は有家委員、細川委員、岸田委員)
事務局：安井、中西、安川、高橋、森田

内容

開会

○田仲会長が挨拶を行った。

会議運営について

○事務局から資料について説明を行った。

○事務局からグループ協議について会議進行案の説明を行った。

グループに分かれて意見交換

3つのグループに分かれて、次のテーマで意見交換を行った。

テーマ①：学校数、学校位置、目標年について

テーマ②：魅力ある学校づくりについて

各グループの意見報告、全体での意見交換

○意見報告

各班から次のとおり意見報告があった。

1班：テーマ①について

- ・学校数は様々な意見が出た。3小3中という意見もあった。
- ・場所は、地理的に中央で。端端から遠くない所。
- ・時期は、議論にならなかった。

テーマ②について

- ・子どもに目標をつくらせる。
- ・個性をアピールする。
- ・チャレンジの機会を設定する。
- ・極端に学級数が少ないのは難しい。

2班：テーマ①について

- ・中学校は、人数、部活動、教育活動を考えると1校。
- ・小学校は、20人～25人の学級定員とすれば、5年後には2校にして

10年後に1校にする。

- ・小中一貫校もあるが、小学校1校、中学校1校。
- ・位置は、安全で、自然豊かな地域。交通の便が良い所。電車通学ができる所。
- ・校舎は、今ある施設を使うと吸収になるので、敷地に新設する。
- ・時期は、できるだけ早く、5年～10年で。

テーマ②について

- ・自然、歴史、文化にふれあえる郷土学習。
- ・英語も1つのポイント。交換留学の経験も活かした、生きた英語教育。
- ・教育機器は最先端とする。
- ・日本一がある、特色ある学校にできたら良い。

3班：テーマ①について

- ・小学校1校、中学校1校を新設で造る。
- ・学校の選択肢を設けるという意味で、小学校1校、中学校1校、小中一貫校1校を既設と新設か、新設2校で造る。
- ・位置は、スクールバスの利用を考えて。通学のデメリットとして、人数が増える、遠くなる、バス代がかかると、保護者の理解が得られない。ルートをよく考えないと遅くなる。通学の方法を検討する。
- ・目標年は、早く。5年程、5～10年という意見があった。

テーマ②について

- ・教育環境を整えた学校。
- ・小中一貫校は魅力ある学校になる。
- ・多人数多クラスをベースにして、少人数少クラスで週に1度は地域の学校に戻り、学べる機会をつくり、地域を知って愛する心を育てる教育。
- ・市民による出前授業を行い、アピールする。
- ・学力をつける。英語を話せるようになるのも特長となる。
- ・渉外担当を設けて、教員が教育に専念できるようにする。

○全体での意見交換

委員から次のような意見があった。

- ・小中一貫校は学年を区切る。
- ・小中一貫校の校舎を区切るというやり方もある。1～4年、5～7年、8～9年を分けて3校舎にする。
- ・人口は交通結節点に集まるから、学校の位置はまちづくりと密接に関わって解決すべき。
- ・3小3中なら現状維持もあるとの意見もあったが、過小規模校は厳しい。
- ・学年の区切りが難しい。
- ・中学の区切りが難しくなる。年長の立ち位置の問題、意識の問題だ。
- ・小学校5～6年で方程式を教えるのもありだと思う。小学校高学年で英語を教

えることができるのか。文部科学省が認めてくれるか、知りたい。

- ・ 特長ある教育をすればするほど、ガラパゴス化する。転校生がなじめる教育づくりが必要であり、教育の特長にもなる。
- ・ この会議では人口を増やす手立ての話は困難だ。教育委員会だけでも進まない。
- ・ 何のために魅力ある学校づくりをするのかという目的を考えていくべき。
- ・ 総合計画の予測よりも人口減が進んでいる。
- ・ 魅力ある学校は教育だけには留まらない。交通のデメリットを解消するというまちづくりの分野とも密接に関わって解決すべきである。
- ・ 推進会議のまとめとは別に、(まちづくり等) それ以外の要望もつけ加えたら良い。
- ・ 次のステップへの提言が必要だと思う。
- ・ 校区という考えより、市という地域全体で考えていかねば、という考えだ。

○まとめ

田仲会長が次のとおりまとめを行った。

- ・ 今日幅広い意見が出たので、全体としてはまとめられない。今日の段階では、学校数は大枠として将来的には1小1中になろうと思うが、過渡期の議論が必要、小中一貫校についてももう少し議論が必要。位置については具体的な場所は決まらないが、子どもの環境づくりを考えて配置。魅力ある学校づくりは御所市をどうするのかという話と深い関係があるので、子どもを中心に考えて、どう市として発展させていくかを、行政側に提言する。
- ・ 次回は市長も出席予定なので、市長の想いを伺う。

その他

○シンポジウムの開催について

事務局から、学校規模適正化の市民周知を図るために、3月頃にシンポジウムを開催することを提案し、了承された。

○会議内容の公開について

議事要旨のホームページ掲載については、次回協議となった。

○次回の会議について

次回は全体会議とし、2月16日(月)午後7時～、市役所で開催する。

閉会